

運動への関心・意欲と心理的安全性の向上を

目指した小学校体育科単元の構想と

実践的アプローチ

～体づくり運動を導入とした三角ベースボール5の授業実践を通して～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 小学校教育指導系

岡本 丞悦

【目的】小学校体育科において、子どもが主体的に活動し、チームの一員として協働的に学び合う授業を構想・実践することで、運動への関心・意欲、心理的安全性への影響を検討した。

【方法】第5学年（実践群24名、統制群25名）を対象に、実践群には体づくり運動を導入として、三角ベースボール5を中心教材とした単元を実践した。単元前後に、運動への関心・意欲、心理的安全性についての調査をし、量的分析を行った。さらに、授業後のふり返り記述を基に質的分析を行った。

【結果】量的分析の結果、運動への関心・意欲において、実践群では有意な向上が認められた。一方、心理的安全性では量的指標において有意な差は確認されなかったものの、質的分析からは楽しさの形成や仲間との協力、不安の軽減に関する記述が見られ、心理的側面への一定の影響が示唆された。

【結論】本研究では、子どもが運動に前向きに取り組む態度の形成に一定の有効性が示された。一方、心理的安全性の向上には、継続的な実践や学習指導過程のさらなる検討が必要である。